

事業所名 グループホームさくら日和

作成日: 令和 6年 2月 7日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	② ④	家族・地域との交流や情報開示が限定的になっている。	家族や地域住民が気軽に交流できる環境を作り、入居者様が地域でいつまでも自分らしい生活を送ることができる。	運営推進会議の開催において、家族参加を積極的に促す。会議の議事録は家族に郵送し、感想や意見をいただけるような工夫をする。地域の祭りなどに積極的に参加し、交流を持つ。施設の紹介や展示物の出品も行い、施設の情報を地域の方々にも知ってもらう。	6ヶ月
2	⑬	重度化や終末期における対応に不安がある。	重度化、終末期になっても、安全に安心して生活していただく事ができる。	重度化・終末期の支援方法を職員間で話し合い、マニュアル化する。 マニュアルを基に職員間で研修等を行う。 マニュアルを基に本人・家族の意向を確認する。 本人・家族の意向を基に、医療との連携体制を確認する。	6ヶ月
3	①	事業所理念の共有が薄弱である。	職員全員が事業所理念をしっかりと理解し、理念に基づいたケアを行うことができる。	理念を身近に掲示し常に確認できるようにする。 定期的に理念を見直し、全員が同じ方向を向いて業務を進めていけるようにする。	6ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。